

平成 27 年度事業報告書

事業内容

1. 世界の各時代の衣服、装身具及び関連する文献、資料等の収集、保存、及び公開
(デジタル・データを含む)

(1) 収 集

- 1) 研究・公開に必要な衣服、装身具等の収集

寄贈：84 点

- ・イヴ・サンローラン ドレス 1981 年秋冬オートクチュール 1 点
／ドミニク・ミライユ氏より
 - ・ロメオ・ジリ ネックレス 1989 年秋冬、他 28 点／小山壽美代氏
より
 - ・ネ・ネット 2015 年春夏、他 4 点／株式会社エイ・ネットより
- その他

購入：94 点

- ・サイクリング用スーツ フランス 1898 年頃
 - ・輸出用キモノ 日本 1900 年代
 - ・ランヴァン イヴニング・ドレス 1938 年秋冬
- その他

購入金額 25,413,884 円

〈累計点数〉 12,851 点

(衣服類5,443点、下着類2,313点、アクセサリ類4,067点、その他1,028点)

- 2) 図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

寄贈：76 点

購入：86 点

購入金額 4,515,613 円

〈累計点数〉 17,429 点

(2) 保 存・修 復

- 1) 収蔵庫内環境の安定的維持
・中性紙ボードによる箱の製作 16 箱
- 2) 新規収集品、展示収蔵品のコンディション記録、及び防虫・防黴対策
・脱酸素処理 69 点
新収蔵品 23 点、展覧会出展品 40 点、貸出品 6 点
・目視、バキュームによる処理 166 点
新収蔵品 84 点、展覧会出展品 69 点、貸出品 13 点
・ドライクリーニング 24 点
新収蔵品 24 点
- 3) 収蔵品の補修
・19世紀-20世紀前半のドレス 12 点
- 4) 収蔵品の記録用写真撮影
・新収蔵品 82 点
・収蔵品撮り直し 52 点
・写真家による撮影 37 点

(3) 公 開

- 1) パリ衣装芸術美術館「Déboutonnez la mode!」展への出展協力
会場：パリ衣装芸術美術館
会期：2015年2月10日（木）～7月19日（日）
主催：パリ衣装芸術美術館
貸出：18世紀から20世紀のドレス 5点（会期中展示替えあり）
入場者：70,000人
- 2) 富岡製糸場「1859 日本初の洋装絹織物ブランド S.SHOBAY 展」への出展協力
会場：富岡製糸場 東繭倉庫
会期：2015年5月15日（金）～6月14日（日）
主催：富岡製糸場
貸出：椎野正兵衛店製ドレス・ガウン他 2点
入場者：127,063人

- 3) 京都国立近代美術館 琳派 400 年記念「琳派イメージ」展への出展協力
 会場：京都国立近代美術館
 会期：2015 年 10 月 9 日（金）～11 月 23 日（月・祝）
 主催：京都国立近代美術館、毎日新聞社、京都新聞、MBS
 協賛：大日本印刷、JR 西日本
 貸出：ドレス コム デ ギャルソン 1991 年秋冬 1 点
 入場者：41,067 人
- 4) トワル・ド・ジュイ美術館「Christophe-Philippe Oberkampf」展への出展協力
 会場：トワル・ド・ジュイ美術館
 会期：2015 年 9 月 15（火）～12 月 27 日（日）
 主催：トワル・ド・ジュイ美術館
 貸出：ドレス（ローブ・ア・ラ・フランセーズ） 1775 年 1 点
 入場者：6,800 人
- 5) 堺 アルフォンス・ミュシャ館「ミュシャとコスチューム」展への出展協力
 会場：堺市立文化館 堺 アルフォンス・ミュシャ館
 会期：2016 年 3 月 12 日（土）～6 月 12 日（日）
 主催：公益財団法人 堺市文化振興財団、堺市立文化館 堺 アルフォンス・
 ミュシャ館
 協力：公益財団法人京都服飾文化研究財団
 貸出：19 世紀のドレス 2 点
- 6) KCI ギャラリーにおける収蔵品紹介
- ① 期間：2015 年 1 月 19 日（月）～4 月 17 日（金）
 展示：収蔵品紹介 XVII：ファッションとファウンデーション
 入場者：298 名
- ② 期間：2015 年 5 月 11 日（月）～8 月 21 日（金）
 展示：収蔵品紹介 XVIII：お茶会の楽しみ：ティー・ガウン
 入場者：422 名
- ③ 期間：2015 年 9 月 28 日（月）～12 月 18 日（金）
 展示：収蔵品紹介 XIX：描かれたファッション：1910 年代～20 年代の煌
 めき
 入場者：283 名
- ④ 期間：2016 年 1 月 18 日（月）～4 月 22 日（金）
 展示：収蔵品紹介 XX：衣装の縫い目が語ること：18 世紀ドレスのレプリ
 カ製作過程
 入場者：392 名

7) デジタル・アーカイブスの整備と公開

- ① KCI ホームページ内デジタル・アーカイブスの収録作品の増補
- ② KCI スタディ・ルームでの衣装収蔵品データ・ベースの公開
- ③ 一般公開型デジタル・アーカイブス「KCI Fashion Archives」（スパイラルにて設置）の公開および収録作品の増補準備
- ④ Google Cultural Institute への収蔵品情報提供及び WEB 上への準備

2. 収藏品・資料に基づく衣服及び衣服と諸分野の関連についての調査・研究

(1) 欧州の美術館に収蔵されたジャポニスム期流出・輸出キモノに関する調査

平成 21-23 年度に行ったプロジェクト研究「ジャポニスムを背景とした着物の欧米における影響についての研究」の継続事業

平成 26 年度科研費基盤研究 (C) の採択研究として、クラクフ (ポーランド) 及びハンブルク (ドイツ) の美術館が所蔵する、19 世紀中期から 20 世紀初めの時期に渡来した、着物及び日本染織品の材質、技法、文様、製作年代、コンディションなどの作品調査及び、来歴由来の調査、記録用写真撮影を実施。
助成：科研費基盤研究 (C) (平成 26-28 年度)

テーマ：「ジャポニスム期に流出した在欧洲におけるきもの及び日本染織品の保有状況の調査」

調査美術館：日本美術技術博物館 (通称マンガ館) Muzeum Sztuki i Techniki Japońskiej Manggha (クラクフ、ポーランド)、及びハンブルク美術工芸博物館 Museum für Kunst und Gewerbe Hamburg (ハンブルク、ドイツ)

代表研究者：周防珠実

共同研究者：深井晃子

研究協力者：長崎巖 (共立女子大学教授)、小島咲 (共立女子大学助手)

(2) KCI 収藏品及び現代ファッションの調査・研究

1) 戦後日本の衣服産業及びファッションに関する調査

助成：サントリー文化財団 若手研究者のためのチャレンジ研究助成 (平成 27 年度)

テーマ：「戦後日本社会における着物の歴史社会学的研究」

代表研究者：小形道正

- 2) モスクワ・クレムリン美術館「Haute Couture Houses: 1900-1930. From the Collection of the Kyoto Costume Institute (仮称)」展に関する調査
- 3) 横浜美術館「東西交流展 (仮称)」に関する調査
- 4) 2019 年特別展に関する調査

(3) KCI 収蔵品のパターンの研究・作成、レプリカの作成

- 1) 18 世紀ドレスのレプリカ作成

パターン作成：伊藤ゆち子

レプリカ作成：友成久実子

KCI 所蔵の 18 世紀のドレス (ローブ・ア・ラ・フランセーズ) 1 点 (AC5317) について、前年度 (平成 26 年度) に行った予備調査を基にレプリカを作成。調査内容はパターン、レプリカと共にギャラリーにて展示した (展示期間：2016 年 1 月 18 日～4 月 22 日)

3. 収集品・資料の保存、公開に関する技術的研究と実践、及び施設の設備運営管理

(1) 収集品の写真類、及び資料のデジタル・データ化とその保管の推進

- 1) 1980 年代パリコレクションの 35mm ポジフィルム 1205 点をデジタル・データ化

(2) 収蔵庫の温湿度管理、及び設備管理

収蔵庫内の温湿度その他変化を常時監視し、所定の保存条件を維持するための管理を行う。

(3) KCI ギャラリーの設備・展示什器の整備

収蔵品展示のため、展示台、紹介パネル等を制作

(4) 中長期事業計画立案に資する設備運営管理方法の調査・研究

範例となる国内外の美術館・博物館の施設の調査

(5) 国内外の展覧会出展品のコンディションチェック (13 点)

4. 衣服文化に関する解説書、目録、及び研究報告書等の作成、及び頒布

(1) 収蔵品目録、解説書、研究誌作成のための収蔵品写真撮影

- 1) 写真家林雅之氏による写真撮影
2015年8月6日(木)、7日(金) 21点
2016年1月14日(木)、15日(金) 16点

(2) 学術研究誌への研究論考投稿、専門紙誌、一般紙誌への服飾関連論考の寄稿

- 1) 石関亮「特集：アーカイブの創造性 インタビュー」『vanitas』No. 004 2015年 24-47頁(石見美術館 南目美輝氏とともに)
 - 2) 石関亮「オートクチュール：その制度とクリエーションとビジネス」『PARIS オートクチュール——世界に一つだけの服』三菱一号館美術館 2016年 135-140頁
 - 3) 筒井直子「ファッションデザインのアーカイブと創造性」『ファッションは更新できるのか？会議』フィルムアート社 2015年 365-391頁(蘆田裕史氏、齋藤歩氏、永井幸輔氏、水野大二郎氏とともに)
 - 4) 筒井直子「ファッション・アーカイブとその特殊性について」『vanitas』No. 004 2015年 76-87頁
 - 5) 小形道正「着物文化と都市の現在——レンタルと複製技術の詩学」『季刊 iichiko』No.126 文化科学高等研究院出版局 2015年 114-127頁
 - 6) 小形道正「着物と戦後」『現代思想』43巻12号 青土社 2015年 246頁
 - 7) 小形道正「まなざしの誘惑——二つの名を結ぶ思考」『現代思想』43巻19号 青土社 2015年 180-193頁
- (3) 財団研究誌のリニューアル。『Fashion Talks...』1号(春季)、2号(秋季)発行、及び『ドレスタディ』掲載の論考のKCIホームページ上での公開
- (4) 財団広報誌『服をめぐる』の創刊(7月)及び2号(11月)、3号(3月)発行

5. 衣服文化に関する講演会、研究会等の主催、及び学校、企業等と連携して行う社会教育及び専門家の育成

(1) 衣服文化に関する講演会、研究会等の実施

- 1) 講演会名：「定型と無限」
日時：2015年6月29日（月）
会場：ワコール本社
講演者：堀畑裕之、関口真紀子（「matohu」デザイナー）
参加者：49名
- 2) 講演会名：時と服—ファッションデザイナー・玉井健太郎のもの作り
日時：2015年12月4日（金）
会場：ワコール本社
講演者：玉井健太郎（「アシードンクラウド」デザイナー）、筒井直子
参加者：44名

(2) 大学等における服飾史等の講義

- 1) 神戸大学 「ファッション文化論Ⅰ」（後期学期 1日間） 石関亮
- 2) 京都精華大学 「ファッション史」（前期学期 全15回） 筒井直子
- 3) エスペランサ靴学院 「ファッション史」（特別講義 3日間） 筒井直子
- 4) 同志社大学 「デザイン理論Ⅱ」（後期学期 全15回） 周防珠実
- 5) 京都文教大学 「ファッションの歴史」（前期学期 1回） 周防珠実

(3) シンポジウム・講演・研究会等への参加

- 1) 立命館大学 SEA 講演
講演名：ファッションとブランド戦略
講演者：石関亮
日時：2015年6月26日（金）
会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
主催：立命館大学経済学会学生委員会（SEA）

- 2) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2015 シンポジウム
講演名：新しい時代のファッション
講演者：石関亮（鷺田清一氏、西尾美也氏、マルシア・レベック氏他、とともに）
日時：2015年10月4日（日）
会場：@KCUA（京都市立芸術大学ギャラリー）
主催：京都市、アンスティチュ・フランセ関西

- 3) 立命館大学 Weekly Talkfest 講演
講演名：Is Japanese Fashion Cool? 日本のファッションって、クールなの？
講演者：石関亮
日時：2015年12月9日（水）
会場：立命館大学 大阪いばらきキャンパス
主催：立命館大学

- 4) 神戸女子大学 講演
講演名：ファッション研究について
講演者：筒井直子
日時：2015年11月19日（木）10時40分～12時10分
会場・主催：神戸女子大学

- 5) サントリー文化財団 若手研究者のためのチャレンジ研究助成 中間報告会
講演名：戦後日本社会における着物の歴史社会学的研究
講演者：小形道正
日時：2015年12月17日（木）
会場：如水会館
主催：サントリー文化財団

(4) KCI ギャラリーでの展示品解説、及び関連レクチャーの実施

- 1) 年間を通じた来場者に対する作品解説

- 2) 京都市内の博物館等連携事業「第21回京都ミュージアムロード」に参加
期間中来場された、市民・観光客に作品解説
主催：京都市内博物館施設連絡協議会、京都市教育委員会
期間：2016年1月27日（水）～3月21日（月）

- (5) 学芸員資格取得志望学生のための博物館実習開講
会期：2015年8月24日（月）～28日（金）
受講者：公募審査による19名
- (6) キュレーター及びレストアラー（修復技術者）の育成
- 1) 展覧会、ギャラリー展示、講演会等の企画立案・実施
- ① 京都市、アンスティチュ・フランセ関西「ニューイ・ブランシュ KYOTO 2015」への企画・展示協力
主催：京都市、アンスティチュ・フランセ関西
共催：京都国際マンガミュージアム、京都芸術センター、京都市立芸術大学、京都市交通局、ヴィラ九条山
助成：アンスティチュ・フランセ パリ本部
アドバイザー：石関亮（京都精華大学 蘆田裕史氏、京都女子大学 成実弘至氏とともに）
- ② 三菱一号館美術館「オートクチュール」展への展示協力
主催：三菱一号館美術館、日本テレビ放送網、ガリエラ宮パリ市立モード美術館、パリ・ミュゼ
特別協力：公益財団法人京都服飾文化研究財団
企画協力：NTV ヨーロッパ
- 2) 収蔵品、新収集品の調査・研究
- 3) 現代ファッションの動向調査、資料収集
① デザイナーのデータ（作品、経歴、特徴等）の収集整理
② ファッション情報収集（パリその他のコレクション情報含む）
- 4) 博物館実習のカリキュラム作成、運営
- 5) 学会、シンポジウム、発表会、展覧会等への参加、視察研修

6. 国内外の博物館等と連携し、刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等の実施これに基づく国際文化交流

(1) 展覧会の企画・出展協力

- 1) パリ衣装芸術美術館「Déboutonnez la mode!」展への出展協力
- 2) 富岡製糸場「1859 日本初の洋装絹織物ブランド S.SHOBAY 展」への出展協力
- 3) 京都国立近代美術館 琳派 400 年記念「琳派イメージ」展への出展協力
- 4) トワル・ド・ジュイ美術館「Christophe-Philippe Oberkampf」展への出展協力
- 5) 京都市、アンスティチュ・フランセ関西「ニュー・ブランシュ KYOTO 2015」への企画・展示協力
- 6) 堺 アルフォンス・ミュシャ館「ミュシャとコスチューム」展への出展協力
- 7) 三菱一号館美術館「オートクチュール」展への展示・執筆協力

(2) 海外美術館の服飾所蔵品に関する調査、情報交換

「ジャポニスム期に流出した在欧州におけるきもの及び日本染織品の保有状況の調査」を実施。（担当者：深井晃子、周防珠実）

本年度は、クラクフ（ポーランド）及びハンブルク（ドイツ）の博物館および美術館における、着物及び日本染織品の現地調査を実施した。

(3) 時代マネキンの紹介

平成 22 年度に監修・開発した 18 世紀紳士用マネキンを含めて紹介・普及

以 上